

自己査定、償却・引当等の状況

(単位:百万円)

自己査定に基づく 債務者区分	自己査定における分類区分				引当金残高 (引当率)	金融再生法に基づく 開示債権	リスク管理債権
	非分類	分類	分類	分類			
破綻先 167,718	担保・保証による保全部分 118,072	非保全部分 非保全部分の全額を引当て		個別貸倒引当金	241,410	破産更生債権及びこれらに準じる債権 359,482	破綻先債権 167,127
実質破綻先 191,764		27,571	213,839		(100.0%)*3		延滞債権
破綻懸念先 167,652	担保・保証による保全部分 76,411	非保全部分 91,241	非保全部分の 51.2%を引当て	一般貸倒引当金	46,679	危険債権 167,652	359,058
要管理先 注 108,328	要管理先債権*2 108,328		今後3年間の予想損失率により引当て	一般貸倒引当金	13,364	要管理債権*2 101,817	3か月以上延滞債権 14
	要管理先以外の要注意先 1,314,519	要管理先以外の要注意先債権 1,314,519			今後1年間の予想損失率により引当て		28,662
正常先 5,652,601	正常先債権 5,652,601	今後1年間の予想損失率により引当て			11,589		
					(0.2%)*3		
合計*1 7,602,582					合計 341,704 (4.5%)*3		リスク管理債権合計 628,002*1 (8.3%)

\*1 自己査定の対象債権は、貸付金(社債を含む。)及び貸付金に準ずる債権(未収貸付金利息及び貸付金に準ずる仮払金)であり、リスク管理債権の対象債権は貸付金です。

\*2 「要管理債権」は個別貸付金ベースで、リスク管理債権における3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に一致します。

「要管理先債権」は、「要管理債権」を有する債務者に対する債権額です。

\*3 破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に係る引当率は非保全部分に対するもので、要注意先及び正常先に係る引当率は債権額に対するものです。